

京都府漁海況情報

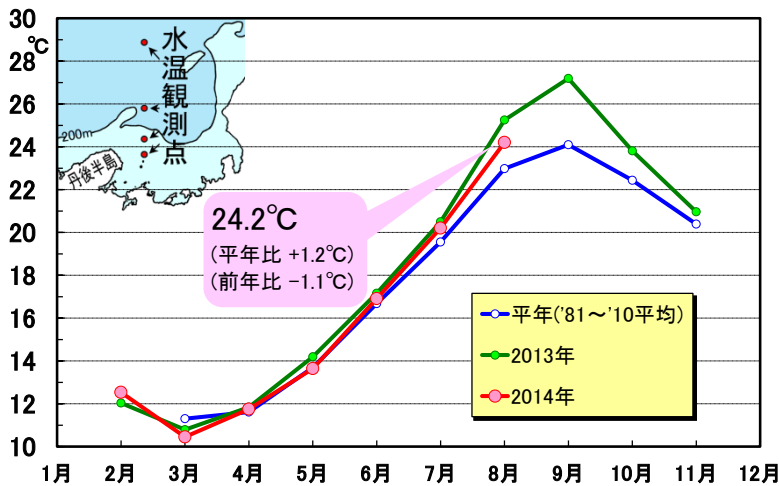
海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話: 0772-25-3078 FAX: 0772-25-1532

【現況】

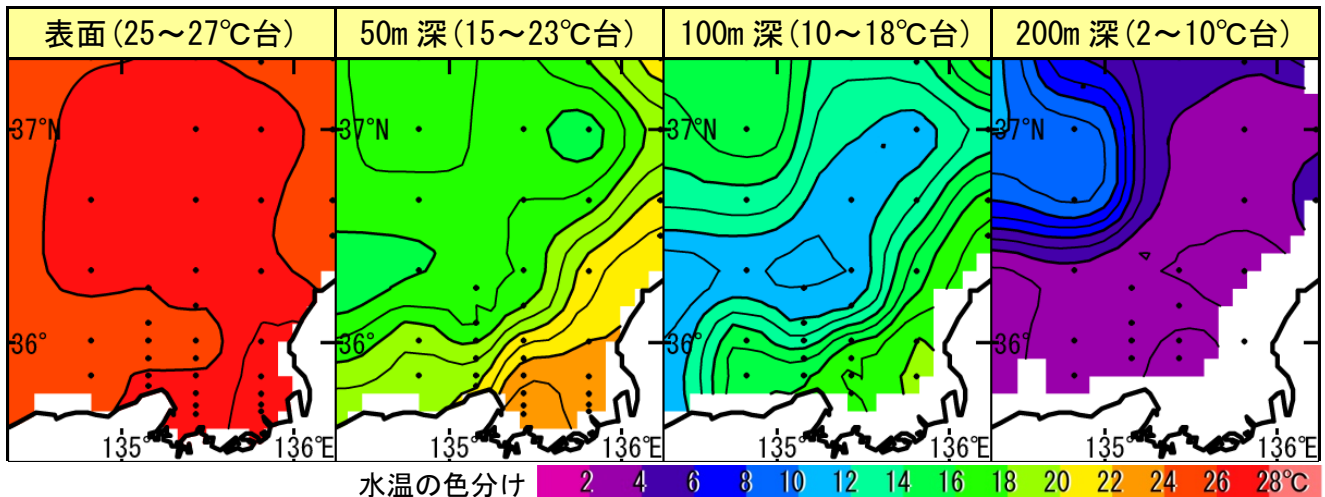
8月上旬における京都府周辺の表層水温は、やや高めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2014年8月上旬)

資料元: (独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元: 気象庁, (独)日本海区水産研究所

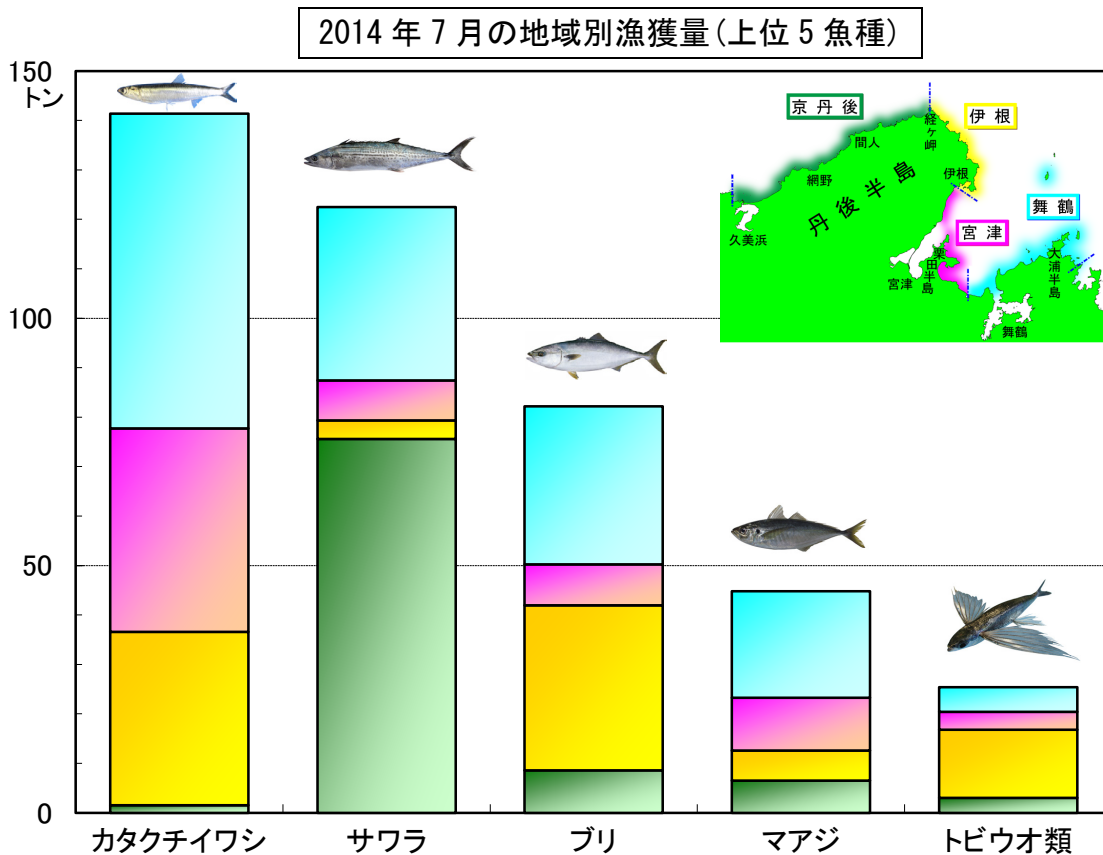
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並みか平年より高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より弱め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し*	「平年並み」で推移する見込み

*冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすと考えられています

漁模様 ～2014年7月～

【定置網漁業】

サワラ(さごし銘柄)が好漁でした。全体の水揚量は、平年の5割強(前年の5割弱)と少漁でした。



7月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	141.4	707.9 (20%)	358.5 (39%)	<カタクチイワシ> 体長 3~9cm 台の小型が主体でした。
サワラ	122.5	38.3 (320%)	102.1 (120%)	<サワラ> ほとんどがさごし銘柄(尾さ長 47~55cm 台主体)で、さわら銘柄(尾さ長 60cm~80cm 級主体)は若干量でした。
ブリ	82.2	121.5 (68%)	70.6 (116%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 8~33cm 台)が 8割強、はまち銘柄(尾さ長 43~48cm 台中心)が 2割弱、まるご銘柄が若干量でした。
マアジ	44.8	42.9 (104%)	146.7 (31%)	<マアジ> はまち銘柄(尾さ長 43~48cm 台中心)が 2割弱、まるご銘柄が若干量でした。
トビウオ類	25.4	48.6 (52%)	75.2 (34%)	<トビウオ類> ケンサキイカ(白いか)が 3.9トン、スルメイカやアオリイカが若干量でした。
スズキ	11.9	5.1 (234%)	9.2 (129%)	
マルアジ <small>(青あじ)</small>	6.9	14.0 (50%)	20.6 (34%)	
タイ類	4.8	2.4 (201%)	7.5 (65%)	
イカ類	4.3	30.3 (14%)	22.8 (19%)	
カマス類	3.5	9.7 (36%)	9.1 (39%)	
その他	25.9	35.5 (73%)	73.1 (35%)	
合計	473.7	1056.1 (45%)	895.5 (53%)	

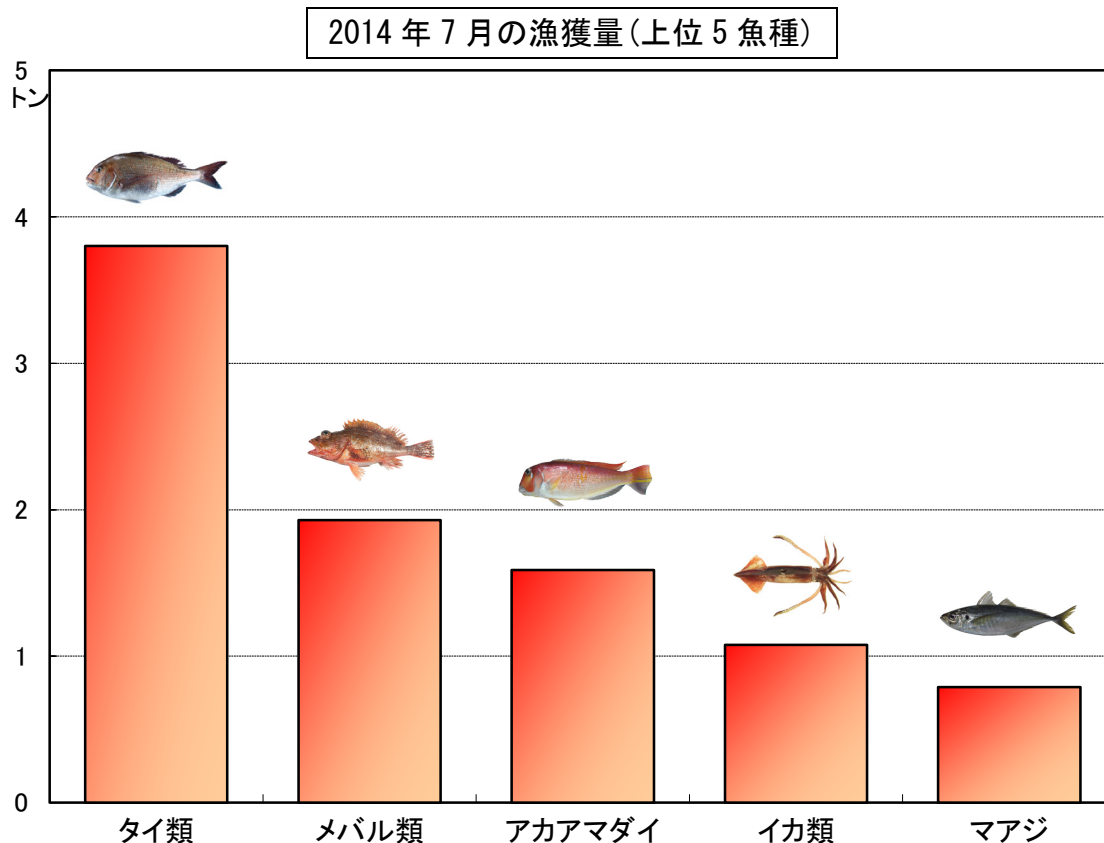
平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

資源保護のため、6月から8月は休漁です。

【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、平年の約6割（前年の8割弱）でした。



7月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
タイ類	3.8	4.7 (81%)	3.3 (116%)	<タイ類> マダイが5割強, キダイ(レンコダイ)が4割強, クロダイが若干量でした。 <イカ類> ケンサキイカ(白いか)が0.9トン スルメイカが0.2トンなどでした。
メバル類(もいお)	1.9	1.7 (112%)	2.6 (76%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.6	1.9 (84%)	1.8 (87%)	
イカ類	1.1	3.2 (34%)	5.7 (19%)	
マアジ	0.8	0.7 (115%)	0.9 (89%)	
カレイ類	0.5	0.3 (179%)	0.7 (75%)	
サワラ	0.4	—	0.6 (60%)	
ブリ	0.4	0.8 (47%)	0.3 (131%)	
タチウオ	0.2	0.2 (109%)	0.4 (46%)	
ヒラマサ	0.1	—	—	
その他	2.2	3.5 (64%)	3.9 (57%)	
合計	12.9	17.0 (76%)	20.2 (64%)	

平年は過去10年平均